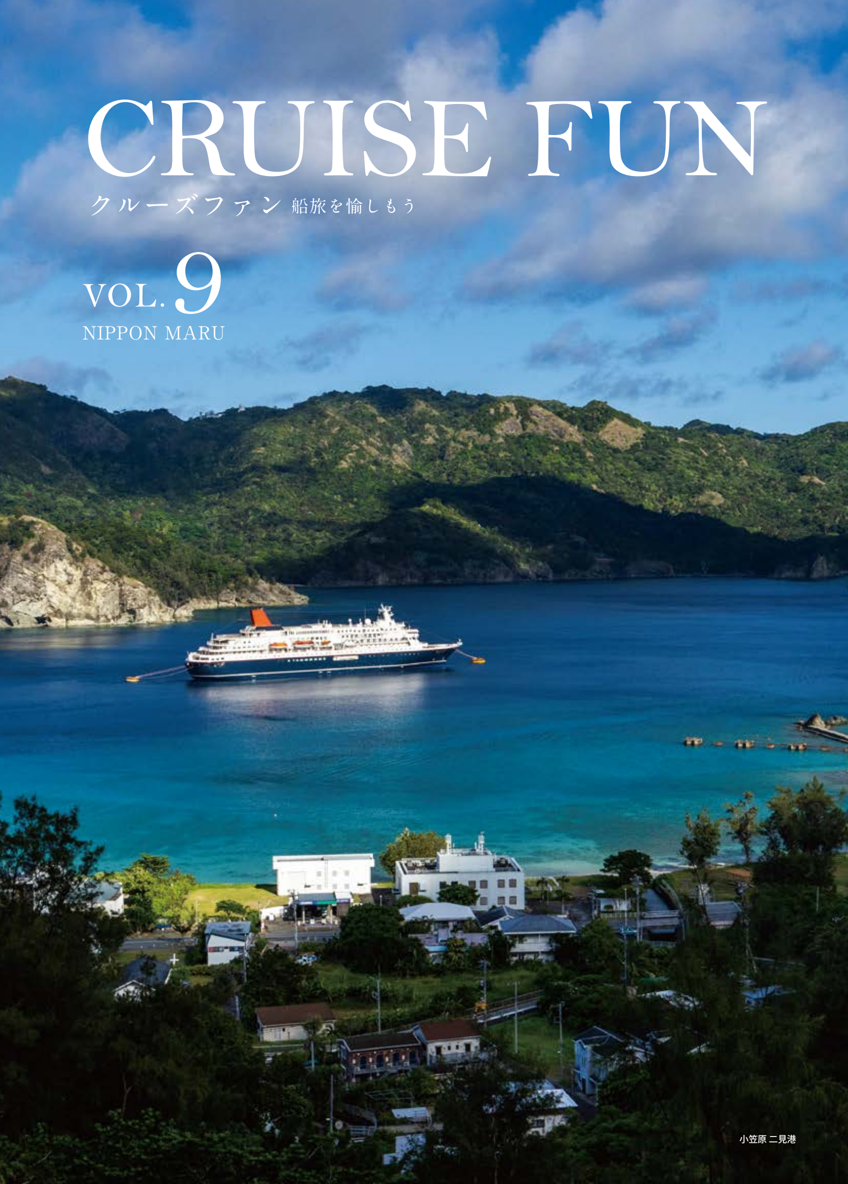
CRUISE FUN

クルーズファン 船旅を愉しもう

VOL. 9

NIPPON MARU



小笠原 二見港

2022年
夏の小笠原クルーズ
乗船体験記

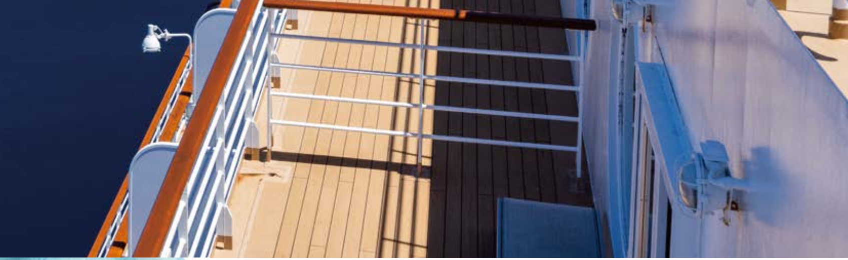
3年ぶりの特別な小笠原クルーズ
それは穏やかな海面を滑るような航海
太陽の光で輝く固有種の緑色
宝石の色より眩しい海の青色
幸せな6日間の乗船は、
思い出すだけで笑顔になる。

「こんな日々が毎日続けばいいのに」。そう願っていたのは、きっと船に乗っていた全員だったのではないだろうか。もちろん一人一人尋ねてまわった訳ではないが、少なくとも下船時に見送った乗客は皆、これ以上ないほど満足そうな笑みを浮かべていたように感じた。

今回の夏の小笠原クルーズでは、航海を通して快晴が続き、海象にも恵まれたことが大きな満足の理由だった。長年乗り続けるクルーでも見たことないほどに大凪になった海面は、まるで水たまりのように静かだった。 時間を忘れて見入ってしまう美しい海面。それは、吸い込まれそうになるくらい不思議な風景だった。キャビンからドアを開ければ目の前にデッキがある。たった1枚の隔たりの向こうには、この穏やかな海面が広がっているのだ。神秘的な海を見ているひとときは、美味しい料理に勝るとも劣らない至福の時間だった。

この輝くような天候は小笠原に到着してからも続き、ツアーで観光地を訪ねる度に、透明な海面や生き生きとした植物が感動をくれた。緑輝く固有種たち、宝石のような海の色･･･そのどれもが生命の色そのものだった。渡航前には十分だと思っていた島の2日間もあっという間に終え、6日間のクルーズも瞬く間に過ぎていったように感じる。よくクルーズは夢のような時間だと形容されるが、この小笠原クルーズほどその言葉がしっくりくるクルーズもないだろう。

IMO-8817631
DANGER HIGH VOLTAGE



航海

小笠原航路で出会う個性豊かな3島、
客船だからこそ見ることの出来た姿。

客船でしか出会えない景色
絶景の島々に見とれる

小笠原は船でしか行くことのできない目的地として名高い。しかし、その道中にも船でしか見ることの出来ない島々があるのを知っている人は、まだそれほど多くないように感じる。例えば、絶滅危惧種の筆頭にあたるアホウドリが繁殖をしている鳥島、海底2000mからそびえ水面にはそのうち99mだけ顔をだす奇岩の孀婦岩などは、その名を聞いてもピンと来ない人が多い。さらにこの２つの島は定期船とは航路が違うため、客船で小笠原クルーズに乗船しないと見ることが出来ないのだ。実は小笠原の父島よりも拝むのが難しい島々といっても過言ではない。

鳥島 絶滅危惧種・野生のアホウドリが棲む島

アホウドリは国内で３種類が確認されている。その３種類全て見られる島はこの鳥島と、ケータ島くらいしかない。

孀婦岩

客船でしか見れない奇岩

航海も半分程度過ぎた頃、突如として海上に突き出た岩がある。異質ともとれる雰囲気は、どこか神秘的な空気さえまとっているようだ。

父島 世界遺産小笠原諸島を代表するメインアイランド

小笠原諸島の有人島は父島と母島、硫黄島の３つの島がある。その中でも最も人口が多い父島がメインの島となる。

父島

かつて無人だった島で固有の動植物が育む生命の神秘に触れる旅へ

父島の緯度は沖縄本島と同じくらいだが、体感ではもっと暑い。おそらく日本国内で最も暑い場所はこの小笠原ではないだろうか。正確には父島より50kmほど南下した所にある母島や、さらに南に位置する硫黄島の方が暑いが、同じ小笠原として見れば日本屈指の暑さであることは間違いない。到着すればそこは南国、見たことのない樹種や変わった実を付けた木、小さな蘭などが複雑な造形を描く。海ではイルカが跳ね回り、怪鳥のようなオオコウモリが宙を舞う。一体全体、ここはどこかに迷い混んだような冒険の島なのだ。２日あるからこそまずはツアーで位置関係を確認、そして翌日は自由行動も楽しみたい。

「平和な海」その言葉を作った人の

父島の東側中央部に位置する長崎展望台からの景色。向かい側に見えるのは人の住んでいない原始のままの風景が残る兄島にあたる

無人（ボニン）ブルーの海に浮かぶ白い船体が一際美しい

かつての住居を再現したもの

漁船がお見送りに追いかけてきてくれたので、滞在のお礼を叫んだ

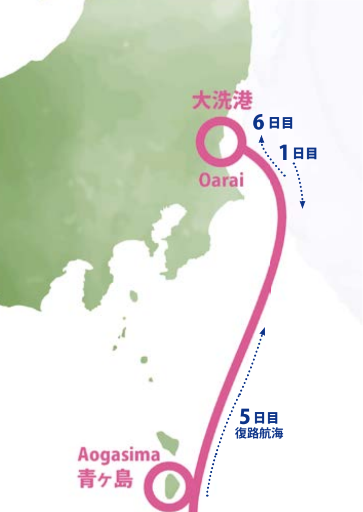
気持ちが分かった日

凪

やはり2022年夏の小笠原クルーズのメインイベントは「大凪」だった。これほど時間を忘れて海に見入った航海というのは記憶にない。本州からほぼ真南に向かうため、航海はすべて太平洋となる。太平洋は英字で書けば「pacific ocean」と記す通り、まさに「平和の海」、「穏やかな海」という言葉がしっくりくる。そう、この航海はとても平和だった。日常の些細な嫌な事など何もかも忘れてしまう。仮に苦手な人がいても許せてしまうだろう。ただ、最後に書いておくと、この大凪は毎回見られるものでもない。条件は定かではないが、おそらく6月から8月頃の太平洋で幸運が訪れた時に出会える海だ。

８階のトップデッキで寛ぐ贅沢な時間。デッキチェアに腰掛けて太陽を浴びれば、そこはパラダイスへの入り口

オークの手摺に触れながら海風を感じて航跡を眺める。これぞ選ばれた人にこそ分かる、許される至極のひととき

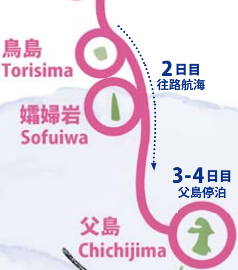


大洗
2023年
3/11日～16日
（5泊6日）
催行

春の小笠原クルーズの概要と見所

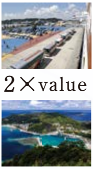
春の小笠原は、ザトウクジラの季節更に年々増加中！

何と言っても春の小笠原クルーズの魅力はザトウクジラに出会えることです。1980年代に捕鯨が中止されてから、年々凄まじい速度でクジラは増加しているため、同時に数頭見られることも珍しくありません。また子育てのために来島するクジラも多く、頻繁にアクションをするのも特徴です。14メートルの巨体が宙を舞う瞬間は、誰しもが圧倒されて言葉を失ってしまうほどの迫力です。



ポイントについて

"大洗発着"と"現地停泊" 特別が重なった航海



今回の春の小笠原クルーズは北関東各地から出発する高速バスで大洗港に行けること、またマイカーで来ても大洗港に置けることで乗下船が非常に快適です。現地停泊２日間あるので充実した滞在も期待出来ます。

春の小笠原 クルーズ クジラ遭遇率は100%？

"100% meeting whales"

過去10年間、3月に開催された、にっぽん丸小笠原クルーズではクジラとの遭遇率は100%！ほぼ間違いなく2023年も出会えると思われます！

※保証はありません。また海を見ている時間など個人差はあります。

父島での食事も楽しみ

島の名物と言えば日本で小笠原でしか食べる事のできないウミガメ料理です。名産品ではミニトマトが人気、で日本一甘いのだとか。他にも地魚のアカバの丸揚げなども人気料理の１つ。

発着 小笠原行 next cruise

海を見ながら 美食の船旅

にっぽん丸船上の魅力

イベントや豪華な船内設備など様々な魅力溢れる船旅ですが、にっぽん丸に乗船されるお客様の多くが楽しみにしていることと言えば「食事」だと思います。美食の船と呼ばれるにっぽん丸、海を見ながら頂く食事時間は別格です。朝食、昼食、アフタヌーンティー、ディナーや夜食、バータイムに至るまで乗船中に何度も感動が待っています。

父島オプショナルツアー

『小笠原のすべて』の著者と楽しむ島

小笠原の専門家、写真家の中村風詩人さんと島の神秘的なシーンを見に行くツアーです。山あり谷ありのコースですが、まさに日本の果てという絶景の景色に出会うことが出来ます。

固有植物散策

現地のガイドと一緒に島の固有種を探しに森へ入るツアーです。町中で見られる固有種とは違った植生が広がっているため、新しい発見が期待できます。またガイド同行でなければ入れない保護エリアに行けるのも嬉しい特典です。

南島ボート周遊

父島周辺で最も美しいと言われる南島の海域を遊覧するツアー。美しさの理由は海底が白砂のため、透明度が 50m にも達すると言われているから。運が良ければクジラに会えるかも。

島内一周観光

有名なビーチや固有種の多い山などバランスよく巡るコースも人気です。島に１台しかないバスを貸し切りで運行しています。

シーカヤック体験

外洋に出るのは大変なので、入り江のような湾内で行われます。見た目よりずっとハードですが、忘れられない体験になるはず。

ホエールウォッチング

最も人気のコースはザトウクジラのアクションを探すこのツアーです。二見湾から南島周辺のクジラが多い海域をクルージングしながらウォッチング。陸上からもクジラを探す連携を取ります。

WANT TO KNOW NIPPONMARU MORE !!

- MORE NIPPON MARU -

にっぽん丸のこと もっと知りたい

ステートルームをもっと詳しく。

More information to know State Class Rooms

ステートルームは３種類

スタンダードステート（18 室）

１階にあるステートルーム。窓が小さめの丸い窓が設置されている。海面が近いので他のフロアからは見られない景色が見られるのが特徴。

ステートクラスはメインダイニング瑞穂でお食事

コンフォートステート（22 室）

３階の後方にあるコンフォートステート。間取りはスタンダードとほぼ同じだが、窓が大きく、希望によりベッドを追加した３名利用が可能。

スーペリアツイン（116 室）

コーナーにソファを設けたことやインテリアの雰囲気がモダンで上質。さらに水回りが一新され、より快適な滞在が出来る仕様となった。

他にも２種類の特殊なお部屋

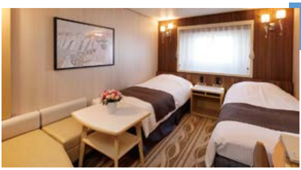
ハンディキャップルーム

車椅子用の客室。区画はスーペリアで２部屋完備

コンセプトルーム

大人数向けの客室で３世代滞在も可能となっている

新たに誕生した"スーペリアツイン"は「快適 & 清潔」



照明・ソファ・カーペットにより上質感が、シャワーやコンセントで快適性が向上。

2022 年の春に「スーペリアツイン」のクラスが新設されました。今までのスーペリアステートを中心に、上質な設えと快適な設備が加わり、さらに一新されたバスルームと共に、より充実したクルーズライフを送ることが出来ます。今回はこのスーペリアツインのクラスを深掘りしていきます。

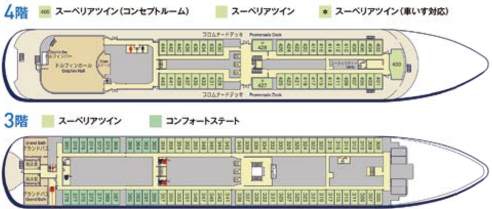
現在ステートの大部分を占めるスーペリアツインが出来たのは必然⁉

現在のステートクラスは、スタンダード、コンフォートも合わせて、156 室になります。そのうち新設のスーペリアツインは、なんと 116 室を占めています。階数は 2F に 20 室、3F に 54 室、4F に 42 室と幅広い取り扱いになっています。高級感を求める声や２名利用のニーズが多かったことを受けて、これまでのステートルームがより快適に、よりラグジュアリーに生まれ変わったのは必然だったのかもしれません。

使いやすさを大きく改善 清潔感溢れる洗面室で 快適なシャワータイムを満喫

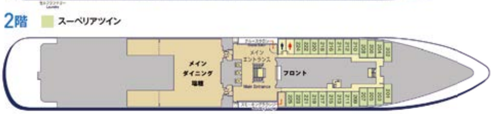
限られた広さのキャビンの中で、最大限の工夫が詰まったリニューアルを施されたのが洗面室です。スーペリアツインの水回りは「清潔と快適」が両立されたモダンなテイストに生まれ変わりました。コーナーに設けられた洗面台はゆったりと大きく溢れにくい仕様、朝の準備時間を有効に活用させてくれます。シャワーも使いやすく、もし船体が動揺しても安心の手摺つきです。洗面室一室全体のリニューアルなので、水回りにありがちなサビやカビ等とも無縁の使い心地です。

ステートルームは３種類、デッキプランで場所を確認。


4階
400 スーペリアツイン(コンセプトルーム)
スーペリアツイン
＊ スーペリアツイン(車いす対応)
プロムナードデッキ Promenade Deck
ドルフィンホール Dolphin Hall
428
427
400
3階
スーペリアツイン
コンフォートステート
グランドバス Grand Bath

3 階のコンフォートは 3 名利用が可能

３階後方部分に集中するコンフォートステートのお部屋は梯子を使った３名利用が可能なタイプ。人数に合わせた活



用が可能です。

1F は全てスタンダード

1F はクリニックとスタンダードステートのみで構成されています。

ステートルームのアメニティと設備

充実するスーペリアツインのお部屋の設備・アメニティ・仕様などを細かく見ていきます。実際に滞在した際に、他のクラスの部屋とは違う部分などをメモしてきました。ベッドサイドのコンセントには USB-A も付いているのでお持ちの携帯電話の夜間充電などにも最適。細部に使い勝手を感じるリニューアルです。

Port & Starboard
216

船内新聞
毎日のご予定に、ポストは共通です。

スリッパ
お一人につき一足。大浴場に行く際に。

にっぽん丸
NIPPON MARU

救命胴衣
万が一の安心に。衣装掛けも完備。

お茶セット
お茶、湯沸かしに加え、洒落たグラスも。

DVD プレーヤー
ブルーレイが見られるお部屋もあります。

冷蔵庫と水
毎日お一人２本ずつお水が届きます。

シンク
コーナーシンクは使い勝手が抜群。

金庫
大切なものは電子錠タイプの金庫へ。

ドライヤー
ドライヤーはお部屋によって違います。

お菓子
ハンドクリームとお菓子が設置。

ライト
上質な照明はお部屋の雰囲気を作ります

コンセント
両側のベッドに揃う電気設備が嬉しい

電話
洋上の分からないことは船内電話が活躍

オートロック
乗船証はルームキーや船内決済になる

テレビ
ベッドから見やすい角度に設置されてる

デッキプラン
チェックイン後に一度は確認したい

クリーニング
有料メニューで頼むことが出来ます

ヘアケア
ソープやヘアケアの３セットを完備

- NIPPON MARU the NEXT -
にっぽん丸のつぎのこと 注目のクルーズ

2023年・秋

大洗発着 日本一周クルーズ 再開。

The Cruising around Japan will be back soon.

2019 年以降実施を延期していた日立ポートサービスチャーター企画 にっぽん丸日本一周クルーズ実施は、2023 年実施に向けて、寄港地調査や船会社との調整など準備を進めています。

速報 / 企画内容

大洗発着 にっぽん丸 日本一周クルーズ 2023（予定）

航路：大洗～瀬戸内海～対馬～隠岐の島～佐渡島～青森～大洗
実施時期：2023 年 10 月 22 日（日）～ 28 日（日）
期間：6 泊 7 日

嬉しい大洗発着を予定しています。もちろん岸壁には車を留め置きも可能。北関東を中心に様々な場所からバスも運行予定です。

航路・寄港地

瀬戸内海航海、寄港地は絶景や秘境を予定

予定航路はかなり濃厚？下見も済んで、あとは最終決定を待つばかり
これまで日立ポーサービスチャータークルーズでは訪れることのなかったマイナーな寄港地も有力候補に挙がっています

調査は現在進行中

トラベル寺さんが日々日本をめぐって調査中

トラベル寺さん

日立ポートサービスのチャータークルーズで訪れる港は全部下見してきました。ツアーでいく観光地の階段の段数まで調べていますので安心です。

アクセスが困難な島にも、飛行機に飛び乗って、更に電車・バスで陸路を移動し、フェリーを乗り継いで秘境とも言える寄港地探しに東奔西走。皆様の「まだ見たことない！」や「こんなところが日本にはあったのか！」という感動のために日々奮闘しています。

有珠山
2022. 8. 25

全寄港地の下見をする旅行会社は珍しい？

全国的に見ても、候補になる寄港地を、全て自らの足でまわって航路を決める旅行会社は多くはないと思います。日立ポートサービスではトラベル寺さんがお客様の満足のために全箇所を実際に下見をして航路を決定しています。

- PORT TO VISIT -

次に いつかに 訪ねたい寄港地

対馬

tsushima

厳原港 / 長崎県

人口：30,470人（対馬市）/ 面積：696㎢ / 所在海域：玄界灘（日本海）

島土の約９割を山に囲まれた国境の島 大自然と異国情緒が溢れる文化に触れる

対馬は韓国までわずか５０kmという近さに浮かぶ国境にとても近い島です。南北の２つの島は別々の島ですが、とても近く、満関橋がかかっており陸路で行き来することが出来ます。観光地は２島のちょうど中央あたりに集中しており、来島の際には絶対訪れたいという烏帽子岳展望所や和田都美神社など有名な観光地が集中しています。客船が着岸することができる厳原港は南側の島の東岸に位置しているため、中央部の観光へのアクセスは良好です。また、岸壁から徒歩10分程度にある厳原の町内にも、対馬博物館やお寺などの見所が点在しており、古き良き城下町としての情緒も随所に見て取れるため、飽きる事無く寄港中の滞在を楽しむことができそうです。

お船江跡

1663年に建設された５基の船着き場が、今も昔のままの姿で残っている。厳原港から歩ける距離なのも嬉しい。

対馬博物館

2022年の春に竣工したばかりで、厳原の中心部に位置する新たな島のシンボル。朝鮮半島との歴史などを展示。

和田都美神社

満潮時に鳥居が沈むことで類い希な景観が楽しめる。竜宮伝説で知られ、台風で倒れた旧鳥居なども展示される。

烏帽子岳展望所

対馬に来たら一度は訪れたい展望台。南北の対馬二島のほぼ中央に位置しており、対馬の全景が望める。

- NEWS -

次に来るのは フライ & クルーズだ！

2023年は飛んで〜シリーズに始まる飛行機と組み合わせたフライ＆クルーズが面白い。
日立ポートサービスでは国内での飛行機と客船をセットにした企画を実施します。

海の綺麗な沖縄や北海道まで船で行こうとするとそれなりの日程がかかるため、飛行機で行って現地でクルーズを楽しむという "フライ＆クルーズ" のスタイルが今注目されています。

神戸発着南国行

茨城空港から神戸空港へ。さらに神戸の港へ行き、屋久島や奄美などの南国をクルーズで巡ります。

北海道発着離島行

茨城空港から新千歳空港へ行き、その後に小樽港より乗船。利尻島や礼文島など魅惑の寄港地へ向かいます。

那覇発着沖縄離島行

茨城空港や仙台空港から那覇空港にいきます。一気に南国を楽しむ最短ルートとして人気が出てきています。

美味なる船のおもてなし

朝食は和食？洋食？パンケーキ？

和食

焼き魚とその日のお総菜

前菜から汁腕、焼き魚などをバランス良く揃えた和食膳。
余裕があれば洋食のバイキングも足すことが出来る。

洋食

バイキングも復活

朝はパンで始めたい人は少なくないのではないでしょうか
ヨーグルトやフルーツと合わせて健康的な１日を

パンケーキ

パンケーキの日もあればフレンチトーストの日もあります
６階の春日に朝食を食べにいく贅沢を現実に

寄港地は和食で力を付け、航海日は洋食で優雅に １日の始まりを気分で変えながら楽しむ贅沢。

朝食は２階の瑞穂と６階の春日でいただくことができます。２階では和食か洋食かを選び、６階ではパンケーキとフレンチトーストの日が交互にやってきます。寄港地入港の朝などはゆっくりしづらいですが、航海日は春日で非日常の気分を満喫するのもお薦めです。また２階の瑞穂では、和食・洋食どちらを選んでも、カレーをオーダーすることが出来ます。にっぽん丸特製のカレーを敢えて朝に食べる、というのがリピーターの間で密かな人気を博しています。

日立ポートサービス

関東・東北を中心とした地域密着の船旅のエキスパート（船旅専門旅行会社）

茨城県日立市にて日立製作所グループの港湾サービス会社、日立埠頭(株)の旅行部門として長年の実績と信頼をもとに船旅専門旅行会社として営業しております。

主な取扱商品としては北関東の海の玄関となる茨城港(大洗・常陸那珂・日立)や東北・関東の各港発着の客船チャータークルーズ企画や関東・東北の空港からの航空と全国各地の港発着のクルーズをセットにした企画など各地域のお客様が気軽に参加できるクルーズ企画を実施販売しています。

またそれに合わせて各県のお客様に客船クルーズの魅力を知って頂く「客船クルーズ説明会」を開催しています。弊社は、地域の皆さまに、クルーズの魅力を知って頂き、クルーズの乗船を通して人生をより豊かにして頂ける様お客様のニーズにあった安心で楽しいクルーズ旅行を提供致します。

瀬戸内海でお客様皆様と記念写真を撮影。穏やかなクルーズを満喫している瞬間です

にっぽん丸
夏の絶景クルーズ
三陸海岸と北海道
歓迎

チャータークルーズで岩手県宮古港に入港した際に歓迎の証として頂戴しました

日立ポートサービスのスタッフが、ツアー添乗を終えた帰りに、徳島港で記念撮影をしました

ビンゴゲームの前座として南京玉すだれに挑戦するトラベル寺さん

● お問い合わせ・お申し込みは

～船旅のエキスパート～
日立ポートサービス クルーズデスク
☎0120-330-525

茨城県知事登録旅行業 2-628 号　茨城県日立市みなと町 14-1
日立埠頭株式会社　国内旅行業取扱管理者　寺門 達也
TEL:0294-53-9313　FAX:0294-54-2446
営業時間 9:00-17:30 (土・日・祝は休日)
mail: travel-tera@hitachi-futo.co.jp